

次に大切なことは、質問をすることを恐れないことです。人々は大抵何が正しいか自分は知っていると思っていますが、実際には知らないことが多いのです。私がセミナーを聞くときは、もしも講師があるレベルに達していれば、まず彼(彼女)が何を言うかを良く聞きます。次に、彼の言うことを自分の知識に照らしてみます。もし2つが一致しなければ、真実を見つけ出そうと努力します。もし、私が間違っていれば、それはそれでいいのです。私はそれから何かを学びます。もし彼が間違っていれば、彼が何かを学びます。もし、両方が間違っていれば、両方が何かを学びます(笑い)。

質問をするのを決して恐らないことです。
—ありがとうございました。

同僚の Joe Klemp 博士が administration に比重を移しつつあるという現在も、自分は administration は嫌いだ。当分は研究に集中したい、と言う。若い頃から一貫して過度に注目し、非線形現象を物理的に眺める姿勢を通す博士は、素朴で、自分を飾らず、柔軟で、人付き合いが良い。多くの共同研究を成功させてきた秘訣は、博士のそんな性格にありそうである。

(気象研究所 新野 宏)

第7回日本気象学会夏期特別セミナー(若手会夏の学校)開催のお知らせ

第7回夏の学校実行委員会 記

気象学会の若手有志によってはじめられた「夏期特別セミナー(若手会夏の学校)」も、好評のうちにこれまで6回を数えました。7回目となる今回は東京大学が主管で、右の要領で行なうこととなりましたのでお知らせします。

今回は、夏の学校の趣旨である「若手研究者の討論、情報交換および交流の場」が活かせるように、参加者が自主的に議論に加われるような内容で行ないます。また時間的に余裕をとって、さらなる討論を行なったり、交友を深めることができる機会を設け、夏の数日間が有意義なものとなるように、と考えています。多数の方の御参加をお待ちしています。

要項・参加申込書など御希望の方は、右の連絡先までお知らせ下さい。なお参加申込の締切は6月30日(金)と致します

期 日：1995年7月30日(日)午後
～8月1日(火)午前

場 所：富士箱根ランド

静岡県田方郡函南町桑原笛場1354

(熱海・小田原駅からバス約1時間)

招待講演：住 明正

(東京大学気候システム研究センター)

演 題：「気象学の今後について」

連絡先：〒153 東京都目黒区駒場4-6-1

東京大学気候システム研究センター

夏の学校実行委員会

西村照幸

Tel (03) 5453-3962

Fax (03) 5453-3964

e-mail nishi@ccsr.u-tokyo.ac.jp